

若草



校訓
平成24年3月21日
尼崎市立若草中学校
学校たより(第18号)
<http://www.ama-net.ed.jp/school/J07/>
TEL 6499-9483 FAX6499-9486

卒業証書授与式 ご来校ありがとうございました。



3月9日の卒業証書授与式はあいにくの雨となってしまいましたが、しっかりと、とても感動的ないい式でした。素直な気持ちのでた送る言葉、また、堂々とした答辞と感動の歌は、三年生の最終章にふさわしいしめくりとなりました。足元の悪い中にもかかわらず、たくさんのご臨席を賜り、心から感謝しております。今後とも卒業生、そして在校生の成長を見守っていただきますようよろしくお願いいたします。



チャリティーコンサート 盛り上がる

東日本大震災から1年となる3月11日に杭瀬栄町EAST商店街のスーパーサンエー前にて、生徒会と吹奏楽部によるチャリティーコンサートを実施しました。今回も杭瀬小学校、地域の皆様の絶大なご協力により盛大に行うことができました。両校PTAの方々にも寒い中、助けていただきました。今回は尼崎北高校の吹奏楽部のご協力もあって、よりしっかりとした演奏で盛り上がりました。地域の方々の温かい支え、子供たちの熱いパワーが被災地の方の心に届くといいなと願うばかりです。次は**生徒会からのメッセージ**です。

新聞やテレビなどのマスコミでは特集記事や番組が連日組まれています。私たちはそれらの情報に頼らなくてはならないのですが、はたして被災地は少しでも前進しているのでしょうか？笑顔は？子供たちの明るい声は…戻ってきているのでしょうか？不自由な仮設住宅や避難所暮らし、泣く泣く故郷を捨てざるを得ない方々、ほんの少し前まで過ごしていた平穏な町が、家が、家族が、仲間が…。一瞬にして奪われていきました。とてもそうした方々の心の傷は1年経っても癒うことはできません。17年前に起きた阪神・淡路大震災では、全国からの支援を受けりっぱに復興を果たしました。でも今回の大震災は規模も大きく広範囲で、地震の揺れだけでなく、津波、そして放射能です。天災であると同時に「人災」でもあるのです。仕方がないでは済まされません。私たちすべての国民に大きな課題が突きつけられてしまいました。今回の大震災で改めて原発問題がクローズアップされました。40年以上前から一部では危険視され問題視された原発。ほとんどの国民にとっては「まさか、まさか…」だったのではないのでしょうか。その原発の恩恵を享受している人は無事で、原発が立地されている過疎地が被害を被り、故郷を捨てざるを得ないとは…。この問題は避けずに直視し、国民全体で考える必要があります。この大きな課題は私たち中学生では手に負えません。でも改めて毎日の生活や意識の改革には少しは良い材料を得たと思います。とにかく今は何か行動を起こしたいのです。少しでも役に立ちたいのです。何かできることは必ずあるはず。これからもそれが何であるか考えていくことが大事だと思います。



地域清掃頑張りました。

3月15日の1校時を使い、地域清掃を実施しました。住所によって班を作り、公園を中心にそれぞれの場所でゴミを集めました。中には時間いっぱいまで頑張ってくれた班もありました。途中で雨が降ってきましたが、いやな顔一つせずに頑張っていました。きれいになった後の場所を見ると、「謙虚な気持ち」「気づく心」「感動の心」「感謝の心」を持つきっかけとなり、「美しい心」を磨いてくれたのではないかとうれしい気持ちになりました。普段から「心を磨く」掃除を心がけていきましょう。



修了式をむかえ、いよいよ春休みに入ります。2週間ほどありますが、ぜひ**まとめの学習**を頑張してほしいと思います。宿題以外にも1年間を振り返って、できていないところや苦手なところを復習しておきましょう。それらの手を抜くと後で大変なことになります。自分の進路を考えた準備をしていくことが成功の、そして成長の秘訣です。

学校評価

学校での自己評価をもとに学校評議員さんや学校関係者評価委員会の方から「学校関係者評価」をいただきました。

【**確かな学力**】・小さな積み重ねの指導を頑張っている。・やる気を引き出すための工夫を取り入れてほしい。・難しいことではあるが個々の生徒の実態を把握し、それに応じた授業の工夫が必要である。復習に力を入れて学習の仕方を指導するとよい。

【**心の安定**】・教師の指導のメリハリにより良好な状態が保たれている。根気強く取り組んでいる。・学年によって生徒の意識に差がある。・行事以外に普段からの学級づくりが大切である。

【**体力の向上**】・授業、行事、部活動ともに熱心に取り組んでいる。・健康については食事も大切で家庭との連携が重要である。

【**信頼された学校**】・たよりや行事写真等の掲示、HP等の情報発信など工夫している。保護者、地域にさらに関心を持ってもらうためにPTAと協力し、学校のカラーが出る行事を考えるとよい。

【**教育目標、研究テーマ**】・教育目標を常に意識するのは難しい。意識させるための工夫が必要である。褒められる喜び、前向きな言葉が大切である。・研究発表会で積極的に表現している生徒の姿に感動した。・テーマ研究のために具体案が必要では？

改善に向けて

・学力向上のため新学習指導要領の全面实施を踏まえた授業力向上の取り組みを積極的に進めていく。・自己学習力を育むための取組を進化させ、学力向上を図る。・社会力を育成するための体験活動を系統化し、自治活動を推進する。・地域、保護者を巻き込んだ活動を活性化させる。

今年度最後のたよりとなりました。24年度もご支援の程よろしくお願いいたします。